

# 第35回ボランティアリズム推進団体会議in静岡

## これからの歴史をさぐる ～ボランティアリズムのこれまでとこれから～

日時 2017年6月17日(土) 13時～17時30分  
(交流会 18時～20時)  
6月18日(日) 9時～12時15分

会場 静岡県総合社会福祉会館703会議室(静岡市葵区駿府町1-70)

### 主催 ボランティアリズム推進団体会議

世話役団体：一般財団法人富士福祉事業団、社会福祉法人大阪ボランティア協会、NPO法人山梨県ボランティア協会、東京ボランティア・市民活動センター、認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク、認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ、いたばし総合ボランティアセンター、社会福祉法人世田谷ボランティア協会、認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK、NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、NPO法人NPOサポートしみず・NPO法人コラボりん湖西・NPO法人静岡県ボランティア協会(順不同)

# 「ボランティア推進団体会議」(通称:民ボラ)とは・・・

「ボランティア推進団体会議」(通称:民ボラ)は、ボランティアに市民活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場です。「ボランティア」「市民参加」「共感力の向上」をキーワードに、ボランティアや市民活動推進に関わる関係者が全国から集い、1983年以降、毎年開催されてきました。2017年度は静岡市で開催します。

35回目となる今回の“民ボラ”は、「これからの歴史をさぐる ～ボランティアのこれまでとこれから～」を全体テーマに掲げました。これまでのボランティア活動推進の歴史に学び、社会の変化を柔軟に受け止め変えていくべきことと、変えてはならない大切なものを見極め、ボランティアのこれからについて議論を深めていきます。

社会の課題に対し「放っておけない」という想いや願い、夢を実現しようとする志のもとに結集するボランティアの活動を、どのように推進していくのかを一緒に考えましょう。

## スケジュール・プログラム

日付	時間帯	内容
6月17日(土)	12:15～13:00	受付・資料・書籍等販売コーナー開店 参加団体の資料コーナー・書籍販売コーナーを設置します
	13:00～13:15	開催挨拶 世話役団体 開催地からの歓迎挨拶 静岡県ボランティア協会 オリエンテーション
	13:15～15:15	全体会:「これからの歴史をさぐる ～ボランティアのこれまでとこれから～」 登壇者 岡本榮一氏(大阪ボランティア協会顧問) 山崎美貴子氏(東京ボランティア・市民活動センター所長) 石原達也氏(岡山NPOセンター副代表理事) 木村真樹氏(あいちコミュニティ財団代表理事) 大山湧希氏(静岡文化芸術大学学生3年) 聞き手 枝見太朗氏(富士福祉事業団理事長)
	15:15～15:30	休憩
	15:30～17:30	分科会① これからの中間支援組織に求められるコーディネート未来像 講師:石原達也氏 分科会② ファンドレイジング(“志金”集め)×フレンドレイジング(仲間集め) ニコレクティブ・インパクト! 講師:木村真樹氏 分科会③ 政治と市民活動の「いい関係」を考える 事例提供者:小林芽里氏・鈴木めぐみ氏
18:00～20:00	参加者交流会 *逸品持ち寄り大歓迎* ピアノの弾き語り 橋本薫さん	
6月18日(日)	9:00～11:00	「静岡方式」と呼ばれる取り組みを掘り下げる分科会 分科会1 静岡方式その① 図上訓練、みんなで「気づき、つながり、動く」ワケ 分科会2 静岡方式その② 若者の就労支援を考える 分科会3 静岡方式その③ 労働界との連携によるセーフティネットづくり
	11:00～11:10	休憩
	11:10～12:10	クロージング:対談「これからの歴史をさぐる ～共生社会への歩み～」 ゲスト 播磨靖夫氏(たんぼぼの家理事長) 聞き手 小野田全宏(静岡県ボランティア協会常務理事)
	12:10～12:15	閉会挨拶

## 【プログラム】

### 13:00～13:15 開会式

開会あいさつ 世話役団体  
開催地あいさつ 静岡県ボランティア協会  
オリエンテーション



お茶の花

### 13:15～15:15 全体会

#### 「これからの歴史をさぐる ～ボランタリズムのこれまでとこれから～」

ボランティア運動を長年にわたり育ててきている先駆者たち。

1965年（昭和40）、今から52年前の11月に大阪ボランティア協会が設立されて以降、日本の各地にボランティア活動推進組織が誕生し、ボランティア運動が地域に根付いてきました。そして今日、市民活動やボランティア活動は社会課題の解決に向けてなくてはならない存在として大きな広がりを見せています。

この全体会では、ボランティア活動推進の歴史をふり返るとともに、今の時代に何が求められているのか、時代の流れに乗りながらも、流され失ってしまっはいけないものは何か、何をスジとして残し、これからの「歴史」をどのようにつくっていったらよいのかを「これからの歴史をさぐる ～ボランタリズムのこれまでとこれから～」と題して考えます。

登壇者：岡本 榮一氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会顧問）  
山崎美貴子氏（東京ボランティア・市民活動センター所長）  
石原達也氏（NPO法人岡山NPOセンター副代表理事）  
木村真樹氏（公益財団法人あいちコミュニティ財団代表理事）  
大山湧希氏（静岡文化芸術大学国際文化学科3年）  
聞き手：枝見 太郎氏（一般財団法人富士福祉事業団理事長）

### 1日目 15:30～17:30 分科会

#### 第1分科会

これからの中間支援組織に求められるコーディネート未来像  
～「コレクティブインパクト」ってなんだ?!～

多様な主体が連携し様々な知恵や経験を集めて地域・社会の課題解決に結びつける「コレクティブインパクト」が注目を集めている。中山間地域での移動困難や子どもの教育機会格差でこの手法を取入れ実践している岡山NPOセンターの石原さんにお話を伺い、「コレクティブインパクトって何か」「どんな成果や効果が得られるのか」「中間支援組織はどんな関わりができるのか」などを学び、明日からの現場でいかすために考えます。

講師：石原達也氏（NPO法人岡山NPOセンター副代表理事）

【企画団体】社会福祉法人大阪ボランティア協会・社会福祉法人世田谷ボランティア協会・  
認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク

## 第2分科会

ファンドレイジング(“志金”集め)×フレンドレイジング(仲間集め)ニコレクティブ・インパクト!  
あいちコミュニティ財団の取り組み。進行形の「0～100歳のまちづくり」実践も紹介!

あいちコミュニティ財団は“志金”集めと仲間集めに取り組んでいます。昨年度から取り組み始めた「ちた型0～100歳のまちづくり」の取り組みを交えながら、これまでの成果等を木村真樹(同代表理事)さんに伺います。

NPOはマイクロな存在。だけど、ファンドレイジングの本質である「多様な主体による参加」により、もっとすごいことが起こせます。愛知ではどんなことが生まれているのかを聞きます。日本で一番注目の取り組みです!

講師：木村真樹氏(公益財団法人あいちコミュニティ財団代表理事)

【企画団体】社会福祉法人大阪ボランティア協会・社会福祉法人世田谷ボランティア協会・  
認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク・NPO法人山梨県ボランティア協会

## 第3分科会

政治と市民活動の「いい関係」を考える

～浜松における議員と市民・NPOの対話の場を事例に～

市民活動が取り組む社会課題を解決していくためには、政治や行政とつながりをもつことも欠かせません。しかしながら、特定非営利活動促進法にある、「政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とするものでないこと。」という条文が、NPOは政治に関わってはいけない、という誤解を生んでいることも事実です。

この分科会では、浜松で行われている「議員とNPOの円卓会議」や、市民が政治と関わる場や学ぶ場の事例を通して、政治と市民活動の効果的な関係づくりについて考えます。

事例提供者：小林芽里氏(認定NPO法人浜松NPOネットワークセンター事務局長)  
鈴木めぐみ氏(浜松市議会議員)

コーディネーター：鹿住貴之氏(認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK理事・事務局長)

【企画団体】NPO法人コラボりん湖西・いたばし総合ボランティアセンター・認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK

## 2日目 9:00～11:00 分科会

2日目は、静岡方式と呼ばれる分科会を3つ用意し参加者のみなさんと掘り下げます。

### 第1分科会 静岡方式その①

図上訓練 みんなで「気づき、つながり、動く」ワケ 「しぞ〜かおでん」のような多様性を目指して

静岡で行われている図上訓練を事例に、平時に取り組む多様な連携の在り方を考えます。図上訓練を通して、どのように多様な主体が関わり、どのような意識の変化が起こっているのか。県内外はもちろん、他分野の人が集まり、同じ目的のために一緒に動くことで、何が生まれてきているのか。図上訓練に関わる多様な方々から、各自の視点でお話いただきます。

他分野、広域、行政、地域住民との連携など、自分の町で行いたい連携の形を見つけましょう。

話題提供者：原田博子氏(特例認定NPO法人はままつ子育てネットワークびっぴ理事長)  
松島一博氏(浜松市災害ボランティア連絡会副代表)  
松永和樹氏(社会福祉法人静岡県社会福祉協議会地域福祉課主任)  
太田智久氏(富士市危機管理課危機管理担当主幹)  
コーディネーター：松山文紀氏(震災がつなぐ全国ネットワーク事務局長)

【企画団体】いたばし総合ボランティアセンターNPO法人静岡県ボランティア協会

## 第2分科会 静岡方式その②

若者の就労支援を考える ～静岡方式は若者に寄り添う「伴走型支援」！～

「青少年就労支援ネットワーク静岡(2002年発足、2004年NPO法人化)が行う若者就労支援は、働くことに悩みを抱えている若者を「若者就労支援セミナー」を通して400名以上支援してきました。「静岡方式 個別伴走型支援」は、地域のサポーターが若者一人ひとりに寄り添い、本人の希望を尊重しながら、就労をサポートしていきます。

この若者就労支援「静岡方式」は具体的にどのような特徴があり、根底にある想いはどのようなものかを学びあい、自分たちの地域、活動に活かすヒントをさがります。

講師：谷 卓宜氏(NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡 就労支援員)

進行：磯谷千代美氏(NPO法人NPOサポート・しみず理事長)

【企画団体】NPO法人NPOサポート・しみず・東京ボランティア・市民活動センター

## 第3分科会 静岡方式その③

労働界との連携によるセーフティネットづくり

～多主体間連携とボランティアを同時深化させよう～

静岡では、フードバンクが地域の潤滑油として機能しながら、労働界などの強みや特徴を上手に引き出し、食に困った生活困窮者支援のためのセーフティネットづくりが進んでおり、全国的にも注目を集めています。もともと労働者運動が盛んだった静岡の土地柄も影響していますが、労働界の組織のトップまでが当たり前のように食品の配達や連絡調整を行うまでに至った経緯とは？！またボランティアの観点から見えてくるものとは何か？

かつて中間支援組織の職員だったフードバンクふじのくにの鈴木さんと労働界双方を交え、中間支援的発想に立った、多主体間連携とボランティアの同時深化のプロセスを、参加者と一緒に解き明かします。

事例提供者：鈴木和樹氏(NPO法人フードバンクふじのくに事務局次長)

大滝 正氏(一般社団法人静岡県労働者福祉協議会専務理事)

コーディネーター：大野 覚氏(認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ事務局長・NPO法人フードバンク茨城理事長)

【企画団体】認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ・NPO法人山梨県ボランティア協会

11:10～12:10 クロージング

対談「これからの歴史をさぐる ～共生社会への歩み～」

ゲスト：播磨靖夫氏(たんぼぼの家理事長)

聞き手：小野田全宏氏(NPO法人静岡県ボランティア協会常務理事)

12:10～12:15 閉会式

主催者あいさつ

次回開催地へ引継ぎ



## 募集要項

- 日時 2017年6月17日(土)13:00～17:30(交流会 18:00～20:00)  
6月18日(日)9:00～12:15
- 会場 静岡県総合社会福祉会館 703会議室ほか (静岡市葵区駿府町1-70)
- 対象 ボランティア・市民活動センターやNPO支援センター・社会福祉協議会の役職員、市民活動支援や協働・生涯学習担当の自治体職員、ボランティアや市民活動の推進に関心のある方、実際に活動をされている方など、関心のある方はどなたでも参加できます。
- 定員 100人
- 参加費 両日参加:4,000円 1日参加:2,000円  
・資料代及び運営費としていただきます。当日、受付でお支払いください。
- 交流会 1日目終了後に2階ボランティアビューローで開催します。  
交流会には一品持ち寄り大歓迎です。ぜひ、各地の名物、名産品をお願いします！  
参加費2,000円(当日お支払いください)
- 申込み 所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局まで郵便またはFAX、メールでお申込みください。
- 締切り 2017年6月10日(土)必着 ※定員になり次第、締切ります。
- その他 \* 宿泊のかたは各自でご手配ください。  
ホテル等の紹介をご希望のかたは事務局までお問い合わせください。  
\* 資料や販売物がある場合は、元払いであらかじめ事務局宛にお送りいただいて構いません。  
\* 本会議終了後に「NPO 法人静岡県ボランティア協会 40周年記念式典」を開催します。  
ご参加いただける方は是非、ご参加ください。なお、事前申込みが必要です。

### 会場案内

※駐車場のご用意はございません。  
(お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください)

- 公共交通機関をご利用ください。  
JR 静岡駅より徒歩の場合、約 15 分  
JR 静岡駅バスのりば⑤⑥番へ  
「市民文化会館」下車、徒歩約2分  
⑤番のりば(子ども病院線、唐瀬線、上足洗線)  
⑥番のりば(北街道線、東部団地線、水梨東高線、竜爪山線)



### 【申込み先・問合せ事務局】

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階

TEL: 054-255-7357 FAX: 054-254-5208 e-mail: evolnt@mail.chabashira.co.jp

# 民ボラの世話人会メンバーになりませんか？

「ボランティア推進団体会議」(通称:民ボラ)は、ボランティアに市民活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場です。

## 【特徴】

- キーワードはボランティア、市民参加、共感力の向上
- 民主主義の根幹をなす「市民が主体的に社会参加すること」。その思いをつなぐ場
- 実践例、経営課題への工夫・努力、知恵を分かち合う

## 【運営スケジュール】

時期	行事	内容
春～夏	民ボラ研修会議	
民ボラ研修会議当日の終了後	第0回実行委員会	振り返りと、次回開催日程や場所などを決定
秋頃	第1回実行委員会	次回研修会議の企画アイデア検討
冬頃	第2回実行委員会	次回研修会議の企画を深掘り
	第3回実行委員会	次回研修会議の構成を決定し、役割分担
冬～春	民ボラ研修会議の開催準備	募集要項の確定と広報など

## 【メリット】

- 実行委員会に集う各団体の(主に)CEOと交流し、NPOや市民活動の今を議論できる。
- 他の団体のノウハウを得られる。
- 実行委員会への参加費は無料！(ただし旅費は自己負担)

☆詳細は、第35回ボランティア推進団体会議事務局(静岡県ボランティア協会)にお問い合わせください。

----- キリトリ -----

## 第35回ボランティア推進団体会議 in 静岡 参加申込書

NPO 法人静岡県ボランティア協会宛

FAX : 054-254-5208 / E-mail : evolnt@mail.chabashira.co.jp

フリガナ				性別
氏名				男・女
連絡先	〒			
電話	( )	-		
メールアドレス				
所属団体名				
参加形態	<input type="checkbox"/> 両日参加	<input type="checkbox"/> 17日のみ参加	<input type="checkbox"/> 18日のみ参加	
交流会	<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない		
分科会希望	17日	<input type="checkbox"/> 第1分科会	<input type="checkbox"/> 第2分科会	<input type="checkbox"/> 第3分科会
	18日	<input type="checkbox"/> 第1分科会	<input type="checkbox"/> 第2分科会	<input type="checkbox"/> 第3分科会

\*該当に☑を付けてください。 \*メールでお申込みの際は、「民ボラ申込み」と明記してください。